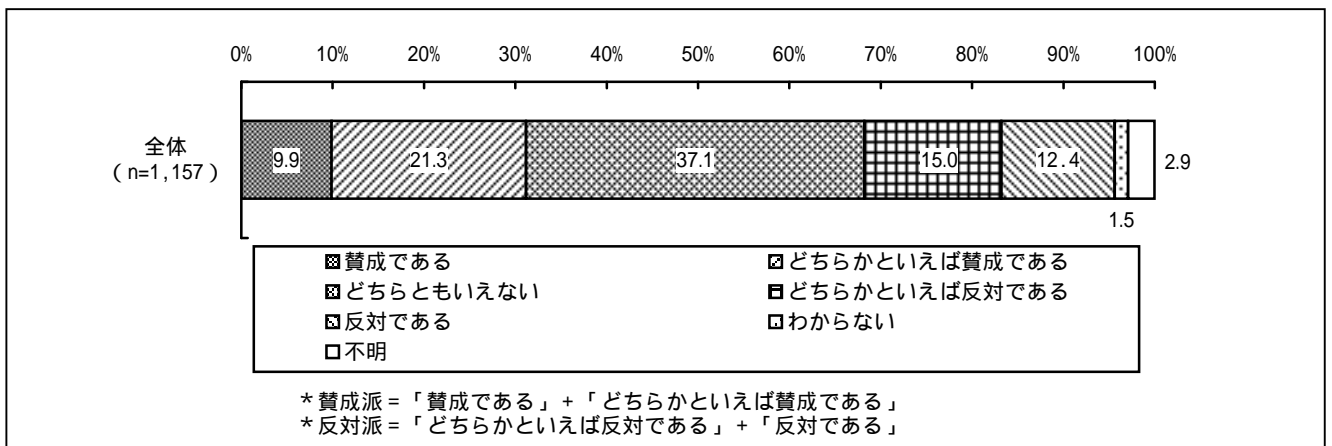


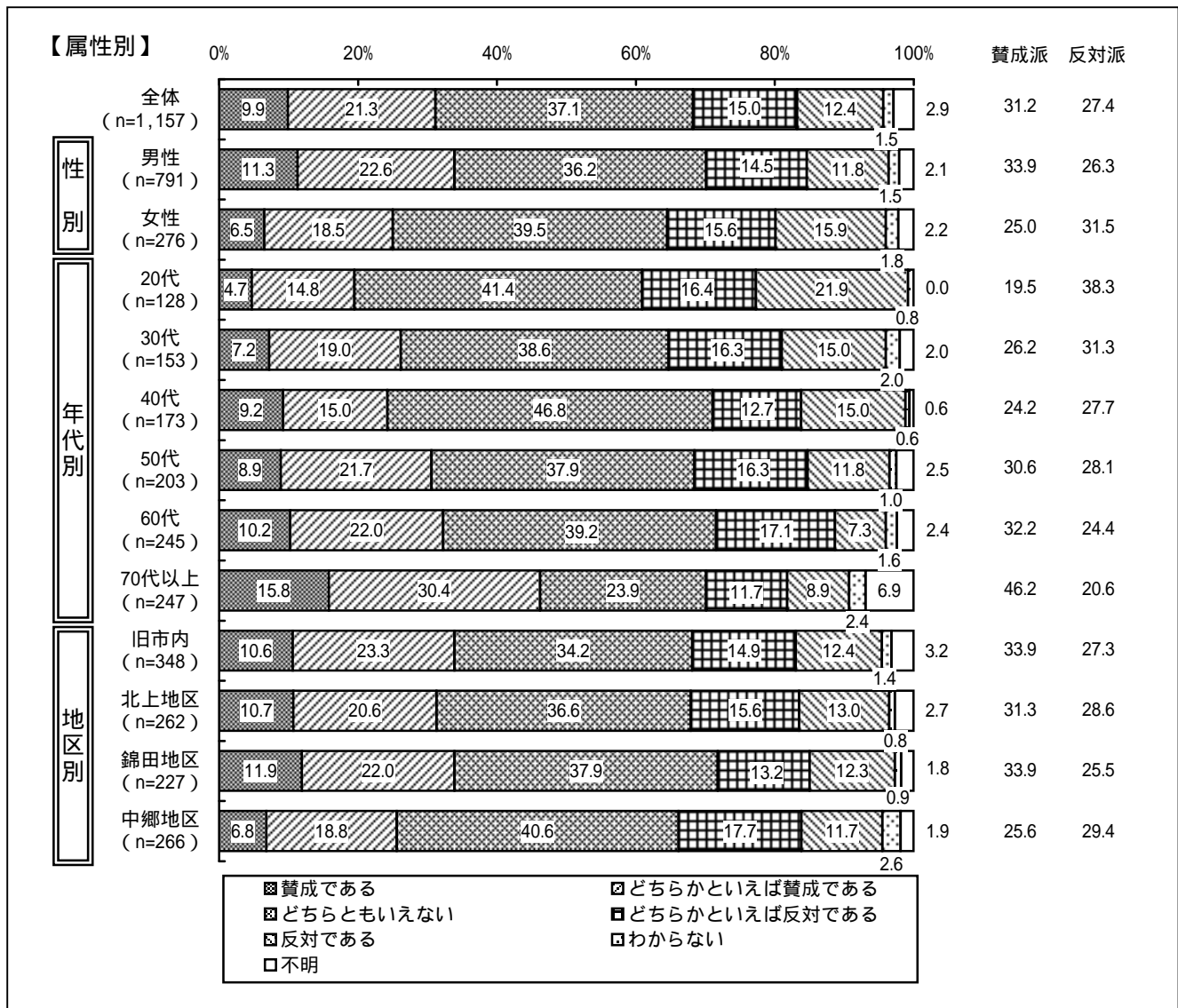
1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について

問21 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成しますか。（ は1つ）

賛成派（「賛成である」＋「どちらかといえば賛成である」）は31.2%



「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について聞いたところ、「賛成である」が9.9%、「どちらかといえば賛成である」が21.3%、この考え方に対する賛成派は31.2%であった。一方、「どちらかといえば反対である」(15.0%)と「反対である」(12.4%)を合わせた反対派は27.4%となっている。そして「どちらともいえない」が37.1%で最も高いという結果であった。



【性別】

性別でみると、男性は賛成派が33.9%、反対派が26.3%、賛成派が7.6ポイント上回るのに対し、女性は賛成派が25.0%、反対派が31.5%、反対派が6.5ポイント上回っている。

【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるほど賛成派も高くなる傾向にあり、20代では2割を下回っているのに対し、70代以上では4割を超えている。一方、反対派は20代が38.3%と高いものの、30代は31.3%、40代は27.7%、50代は28.1%であり、30～50代では大きな開きは見られない。

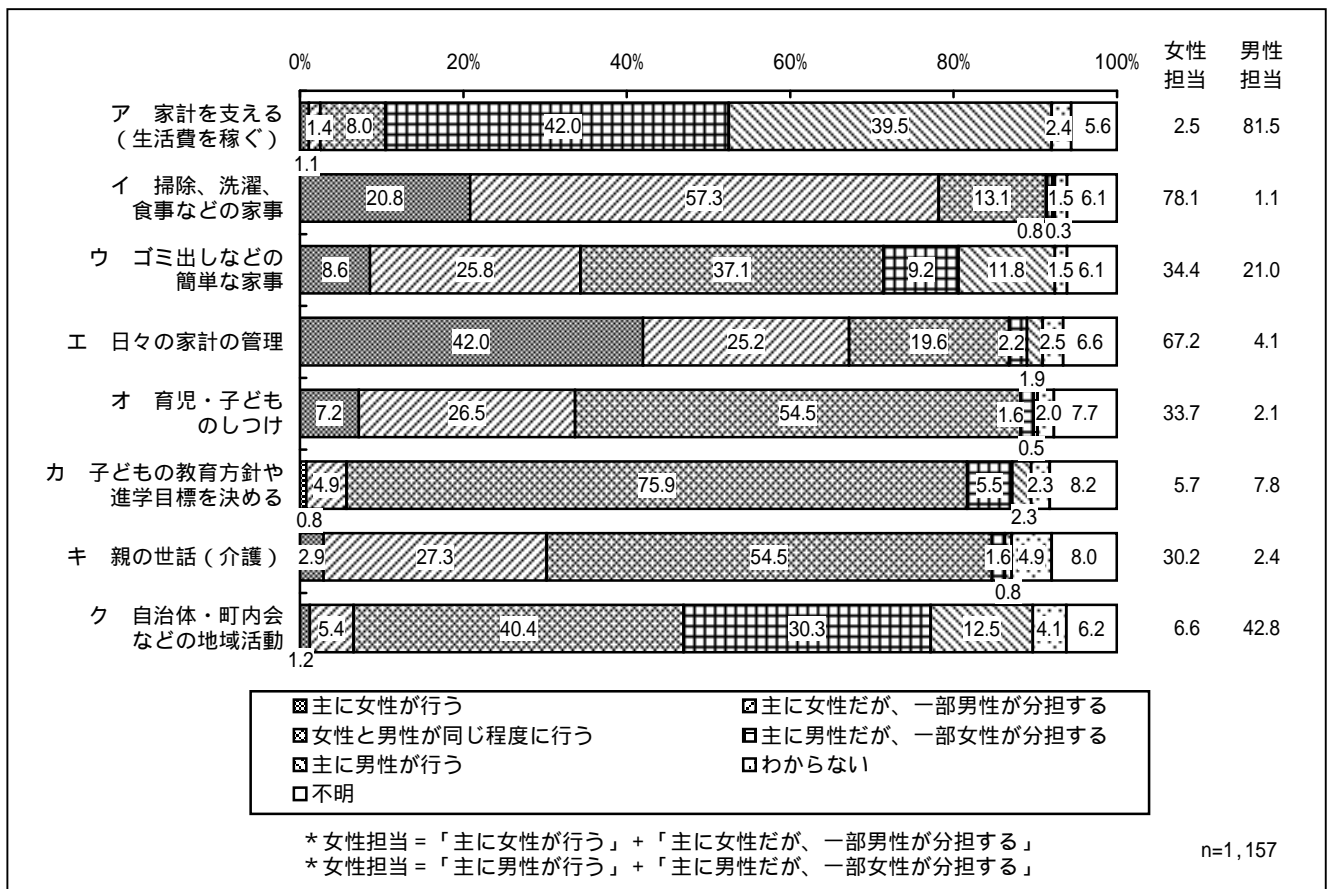
【地区別】

地区別にみると、中郷地区の賛成派が25.6%と低いのが、旧市内（33.9%）、北上地区（31.3%）、錦田地区（33.9%）はそれほど大きな差はない。一方、反対派はすべての地区で3割を割っており、中でも錦田地区が25.5%で、他の地区より低い。

2 家庭の役割を誰が担うかについて

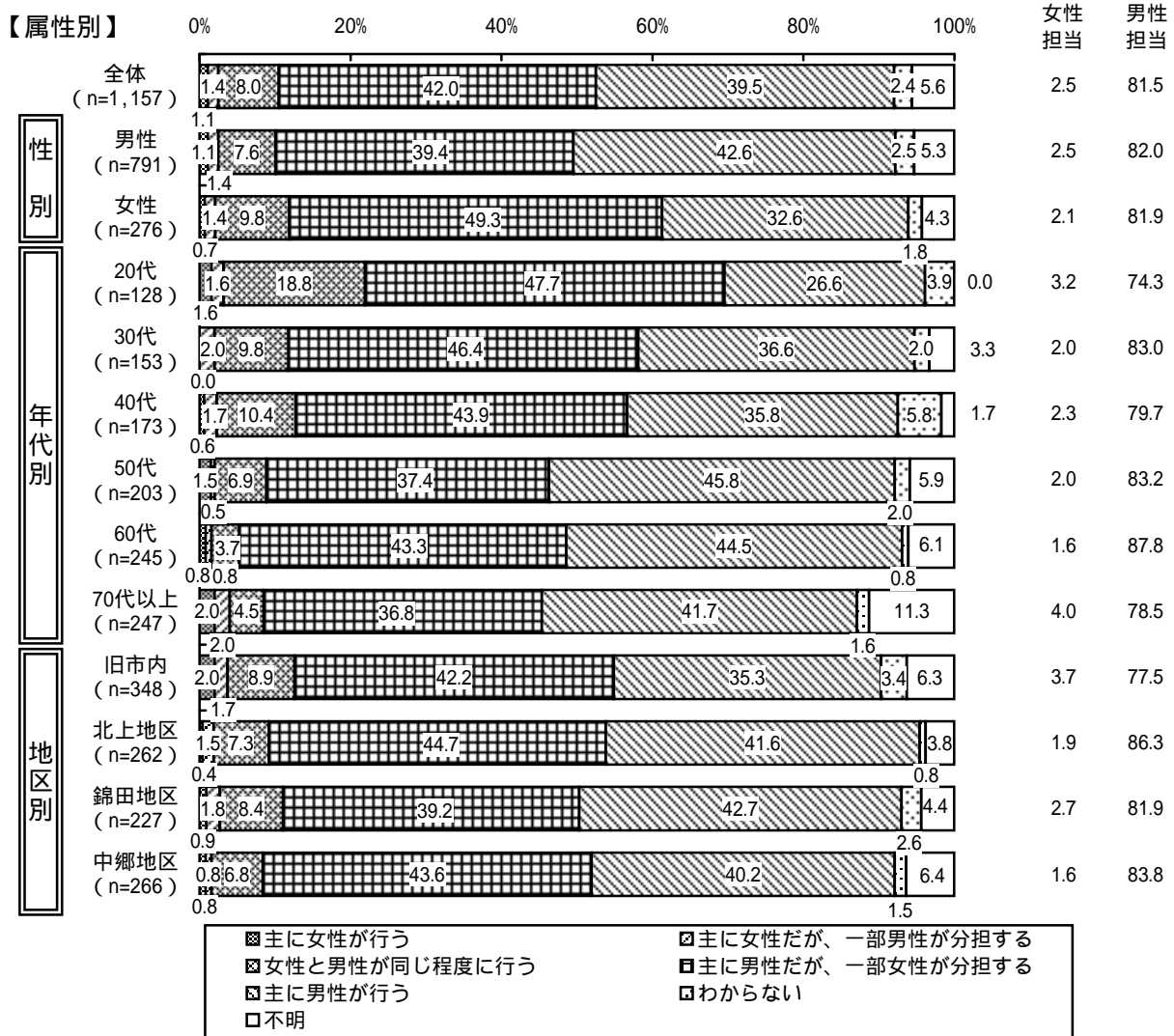
問22 次にあげる家庭の役割を、主に誰が担うべきだと考えますか。それぞれのケースで1つお答え下さい。(ア～ク各々 は1つ)

『掃除、洗濯、食事などの家事』は女性担当が78.1%、『家計を支える』は男性担当が81.5%



家庭の役割を主に誰が担うべきか、上記の8項目について聞いたところ、「主に女性が行う」は『日々の家計の管理』が42.0%で最も高く、「主に女性だが、一部男性が分担する」を合わせた女性担当は『掃除、洗濯、食事などの家事』が78.1%で最も高くなる。一方、「主に男性が行う」は『家計を支える(生活費を稼ぐ)』が39.5%で最も高く、「主に男性だが、一部女性が分担する」を合わせた男性担当は、やはり『家計を支える(生活費を稼ぐ)』が81.8%で最も高い。なお、「女性と男性が同じ程度に行う」役割としては、『育児・子どものしつけ』が75.9%で最も高いという結果であった。

ア 家計を支える（生活費を稼ぐ）



【性別】

性別でみると、『家計を支える』のは「男性担当」と考えている人は男性が82.0%、女性が81.9%、但し、「主に男性だが、一部女性が分担する」に限定すると女性が49.3%で、男性より10ポイント程高い。

【年代別】

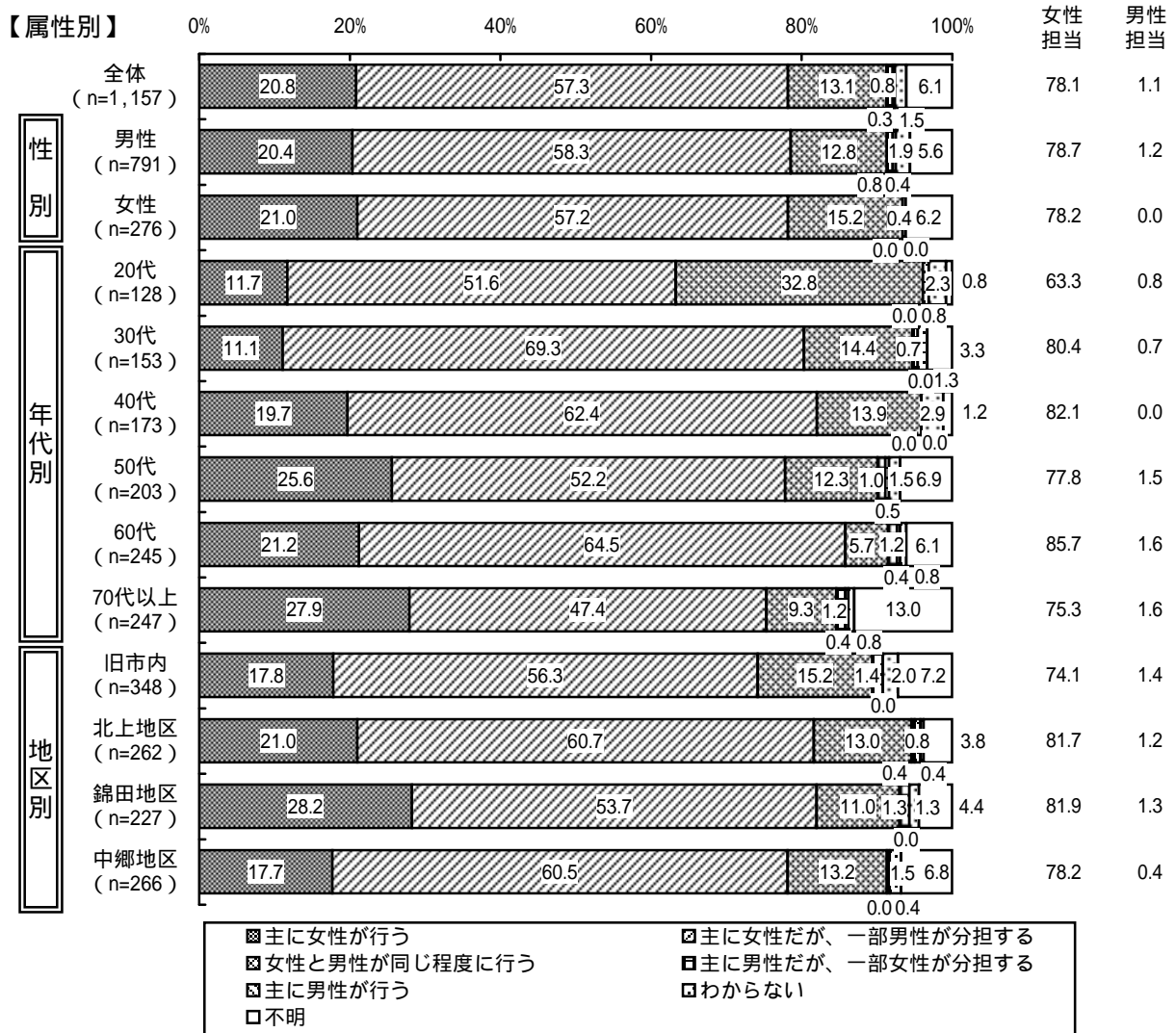
年代別にみると、『家計を支える』のは「男性担当」と考えている人は60代が87.8%で最も高く、20代が74.3%で最も低い。20～30代といった若い年代では、「主に男性だが、一部女性が分担する」という意見が半数近くを占めている。

【地区別】

地区別にみると、『家計を支える』のは「男性担当」と考えている人は旧市内のみ8割を下回っているが、他の地区では80～85%前後となっている。

3 『男女共同参画』について

イ 掃除、洗濯、食事などの家事



【性別】

性別で見ると、『掃除、洗濯、食事などの家事』は「女性担当」と考えている人は男性が78.7%、女性が78.2%、但し、男女とも6割弱が「主に女性だが、一部男性が分担する」という考えである。

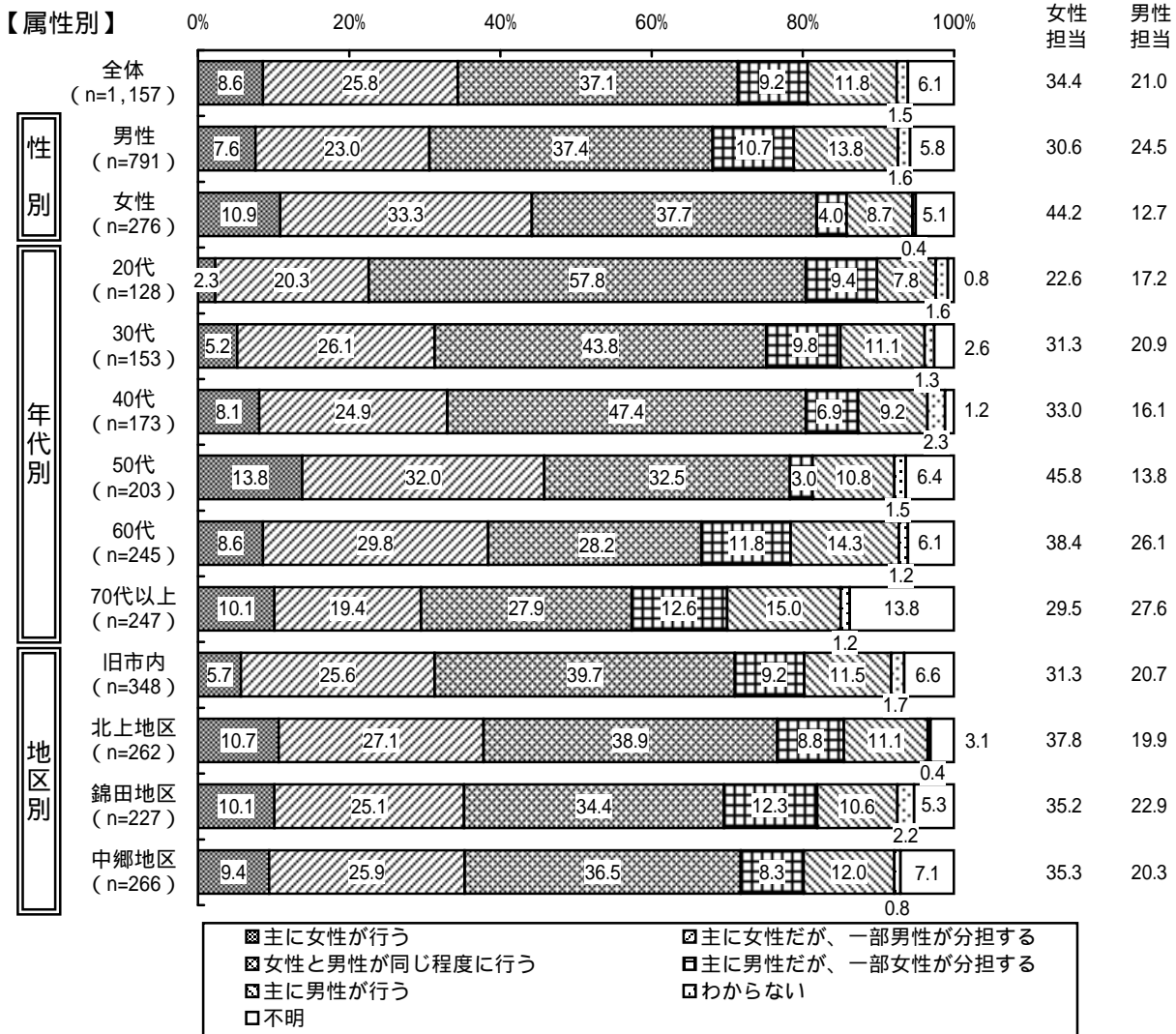
【年代別】

年代別にみると、『掃除、洗濯、食事などの家事』は「女性担当」と考えている人は、30代以上では75~85%前後となっている。20代は「女性と男性が同じ程度に行う」という考えの人が3割以上を占めており、「女性担当」と考えている人は他の年代より低い6割台である。

【地区別】

地区別にみると、『掃除、洗濯、食事などの家事』は「女性担当」と考えている人は旧市内が74.1%、北上地区が81.7%、錦田地区が81.9%、中郷地区が78.2%、旧市内が他の地区よりやや低い。

ウ ゴミ出しなどの簡単な家事



【性別】

性別でみると、『ゴミ出しなどの簡単な家事』は「女性担当」と考えている人は男性が30.6%、女性が44.2%、女性の方が「女性担当」と考えている人が多い。但し、「女性と男性が同じ程度に行う」という考えを男女ともに4割弱の人が持っている。

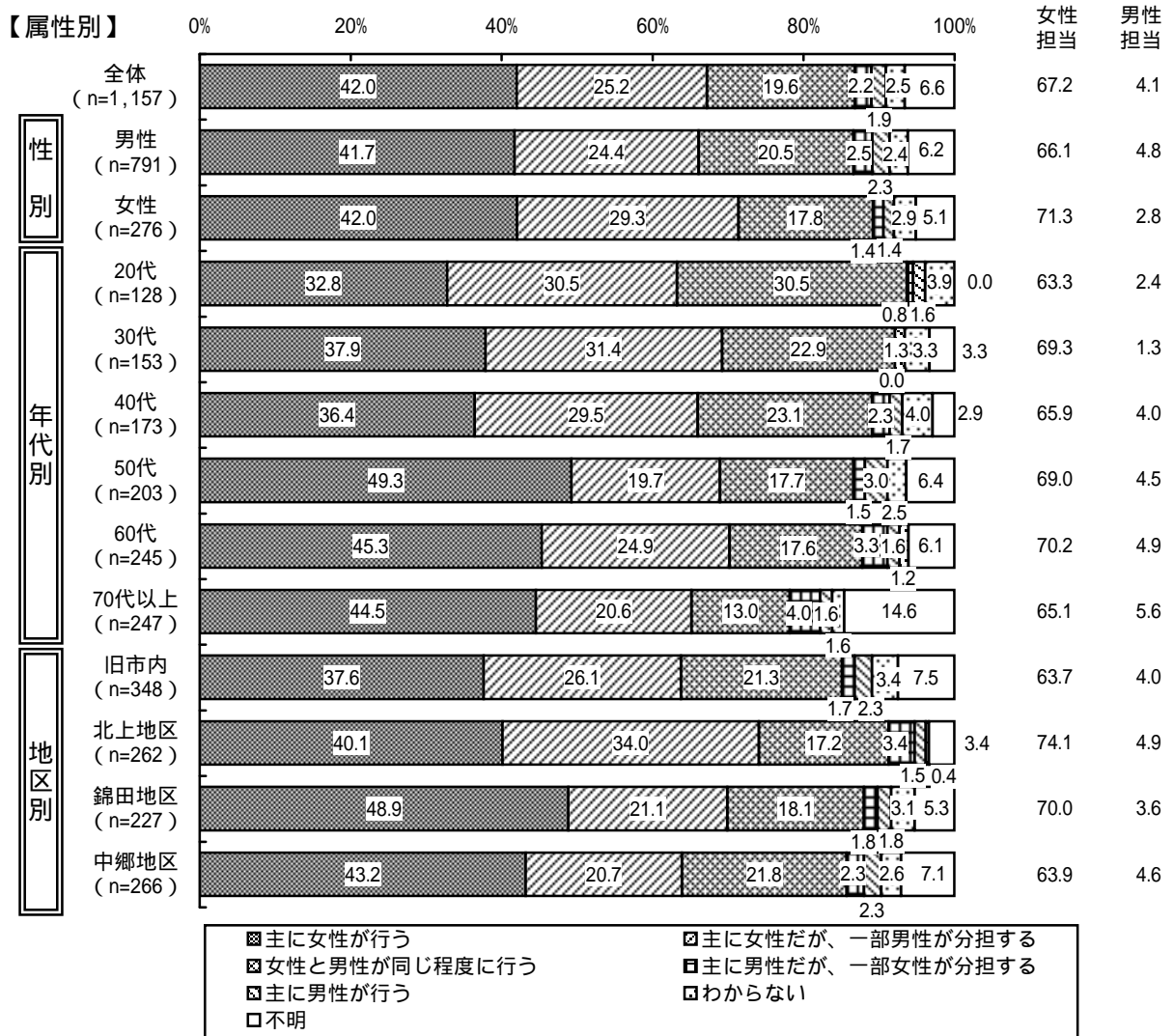
【年代別】

年代別にみると、『ゴミ出しなどの簡単な家事』は「女性担当」と考えている人は、60代が45.8%で最も高く、20代が22.6%で最も低い。20～40代では「女性と男性が同じ程度に行う」という考えを持っている人が4割以上を占めている。

【地区別】

地区別にみると、『ゴミ出しなどの簡単な家事』は「女性担当」と考えている人はすべての地区で3割台であり、「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人も35～40%前後を占めている。

エ 日々の家計の管理



【性別】

性別でみると、『日々の家計の管理』は「女性担当」と考えている人は男性が66.1%、女性が71.3%、女性の方が「女性担当」と考えている人が多い。

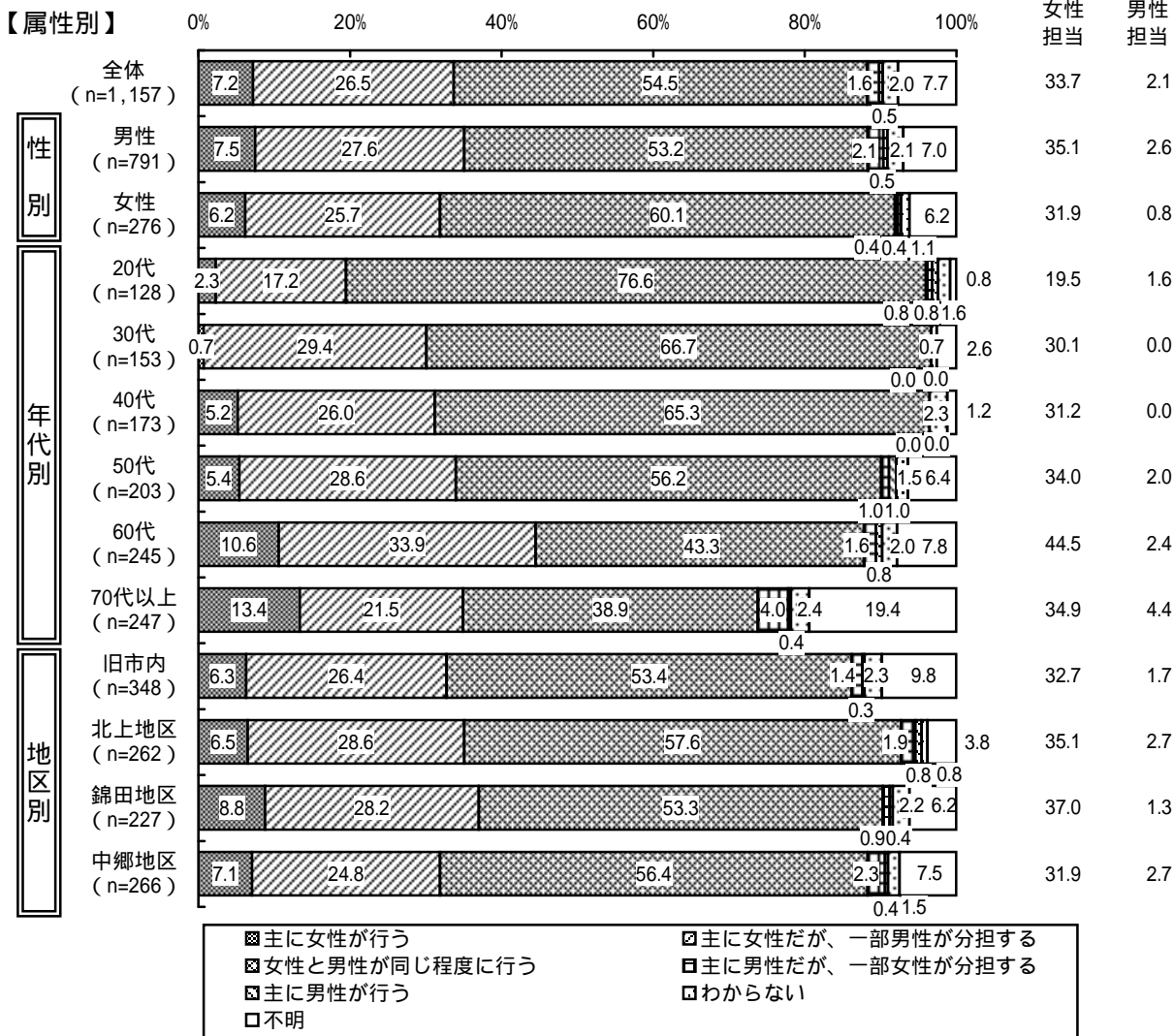
【年代別】

年代別にみると、『日々の家計の管理』は「女性担当」と考えている人は、30代以上では65～70%前後となっている。20代は「女性と男性が同じ程度に行う」が30.5%と高いこともあり、「女性担当」と考えている人は63.3%で、他の年代より低めである。

【地区別】

地区別にみると、『日々の家計の管理』は「女性担当」と考えている人は北上地区が74.1%、錦田地区が70.0%、旧市内（63.7%）と中郷地区（63.9%）は7割を下回っている。

オ 育児・子どものしつけ



【性別】

性別でみると、男女ともに『育児・子どものしつけ』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が5割以上を占めており、特に、女性は60.1%で男性（53.2%）より6.9ポイント高い。

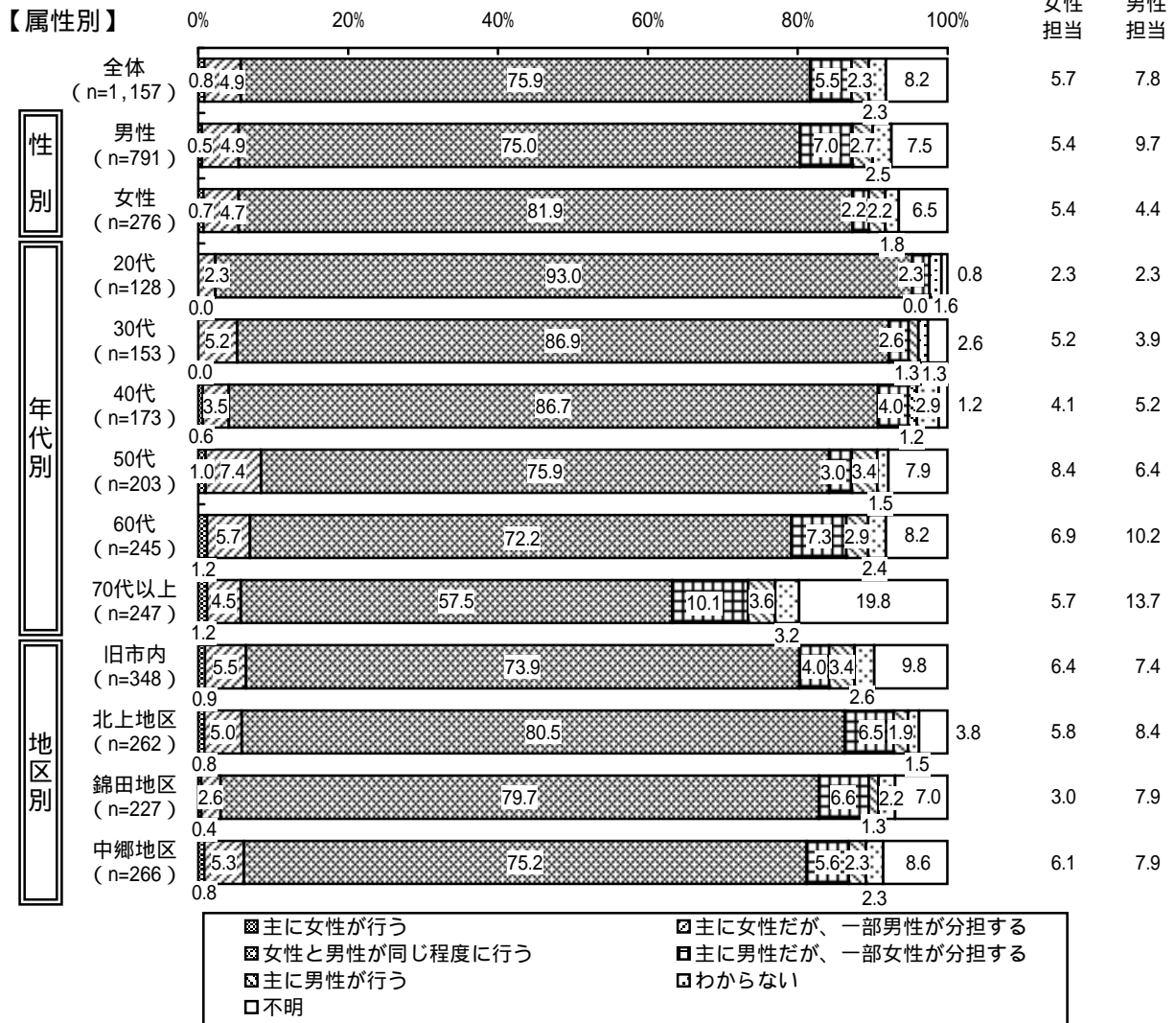
【年代別】

年代別においても、『育児・子どものしつけ』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が多く、20～50代では半数以上の人があるように考えている。60代以上では「女性担当」と「女性と男性が同じ程度に行う」という考えに2分されている。

【地区別】

地区別においても、『育児・子どものしつけ』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が多く、すべての地区で5割以上となっている。

カ 子どもの教育方針や進学目標を決める



【性別】

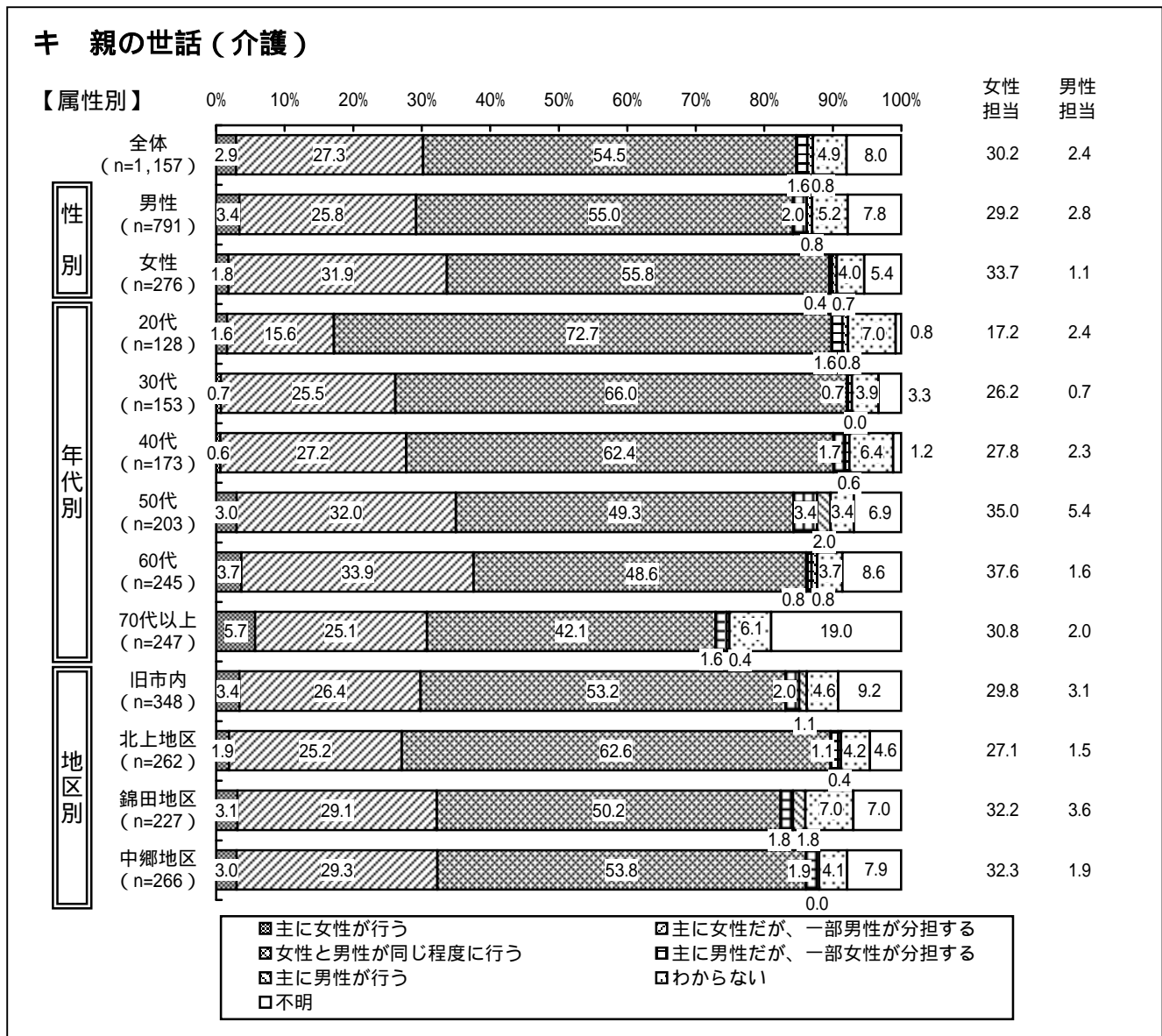
性別で見ると、男女ともに『子どもの教育方針や進学目標を決める』のは「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が7割以上、特に、女性は8割を超える高さである。

【年代別】

年代別においても、『子どもの教育方針や進学目標を決める』のは「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が多い。20代は93.0%、30代は86.9%、40代は86.7%であり、年代が低くなるほど高くなるという傾向にある。

【地区別】

地区別においても、『子どもの教育方針や進学目標を決める』のは「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人は、すべての地区で7割以上となっている。



【性別】

性別でみると、男女ともに『親の世話』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が5割を超えており、男性は55.0%、女性は55.8%、男女間に差はない。

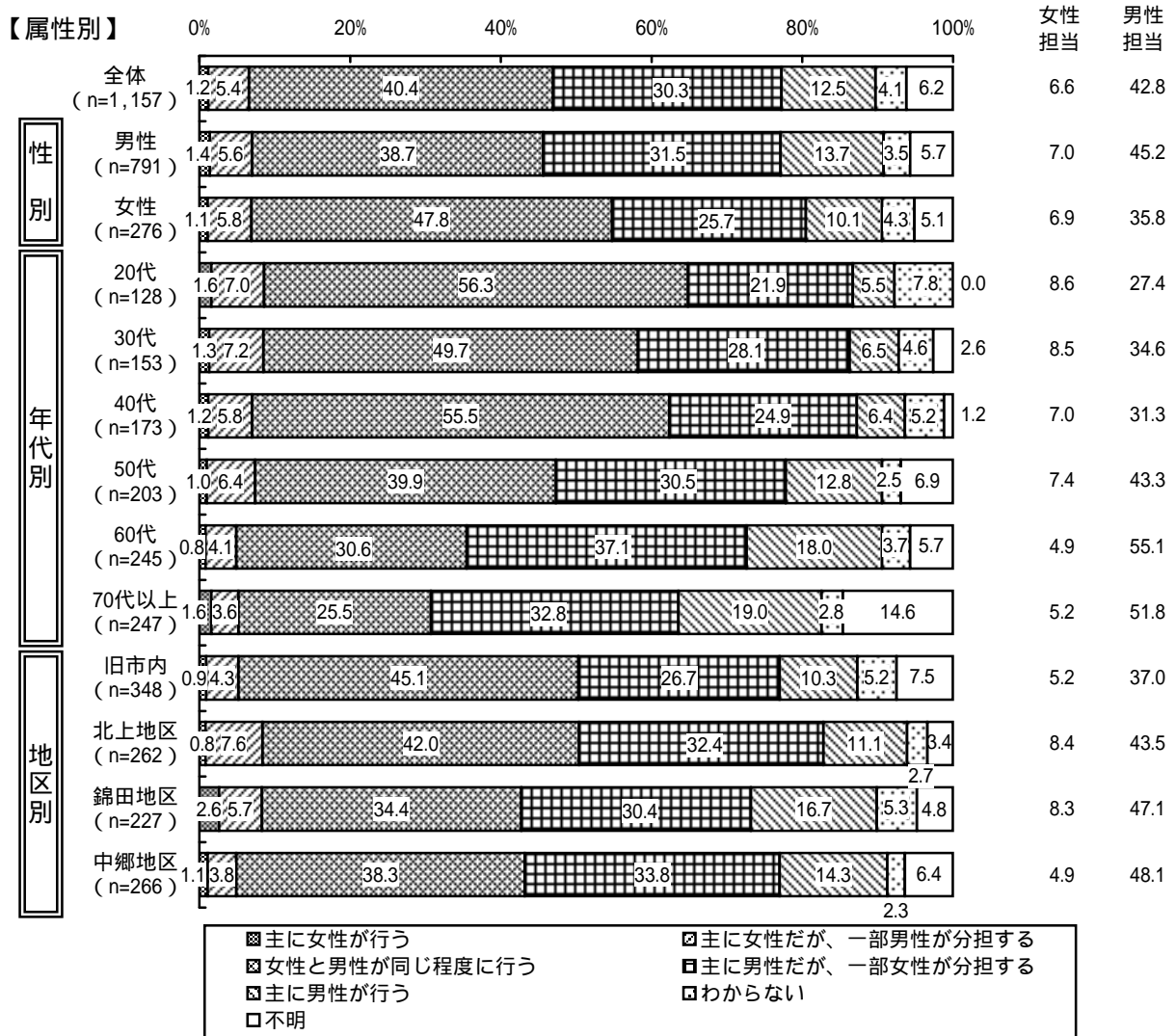
【年代別】

年代別においても、『親の世話』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が最も多く、20～40代では6割を超えている。50代以上は4割台となっており、50代と60代は「主に女性だが、一部男性が分担する」と考えている人が3割以上と高い。

【地区別】

地区別においても、すべての地区で『親の世話』は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が5割を超えており、中でも北上地区は62.6%と高い、

ク 自治体・町内会などの地域活動



【性別】

性別で見ると、『自治体・町内会などの地域活動』は「男性担当」と考えている人は男性が45.2%、女性が35.8%、男性のほうが「男性担当」と考えている人が多い。

【年代別】

年代別にみると、『自治体・町内会などの地域活動』は「男性担当」と考えている人は年代が高くなるほど高く、20～40代では3割前後であるが、60代以上では5割を超える。20～40代は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人が50～55%前後を占めている。

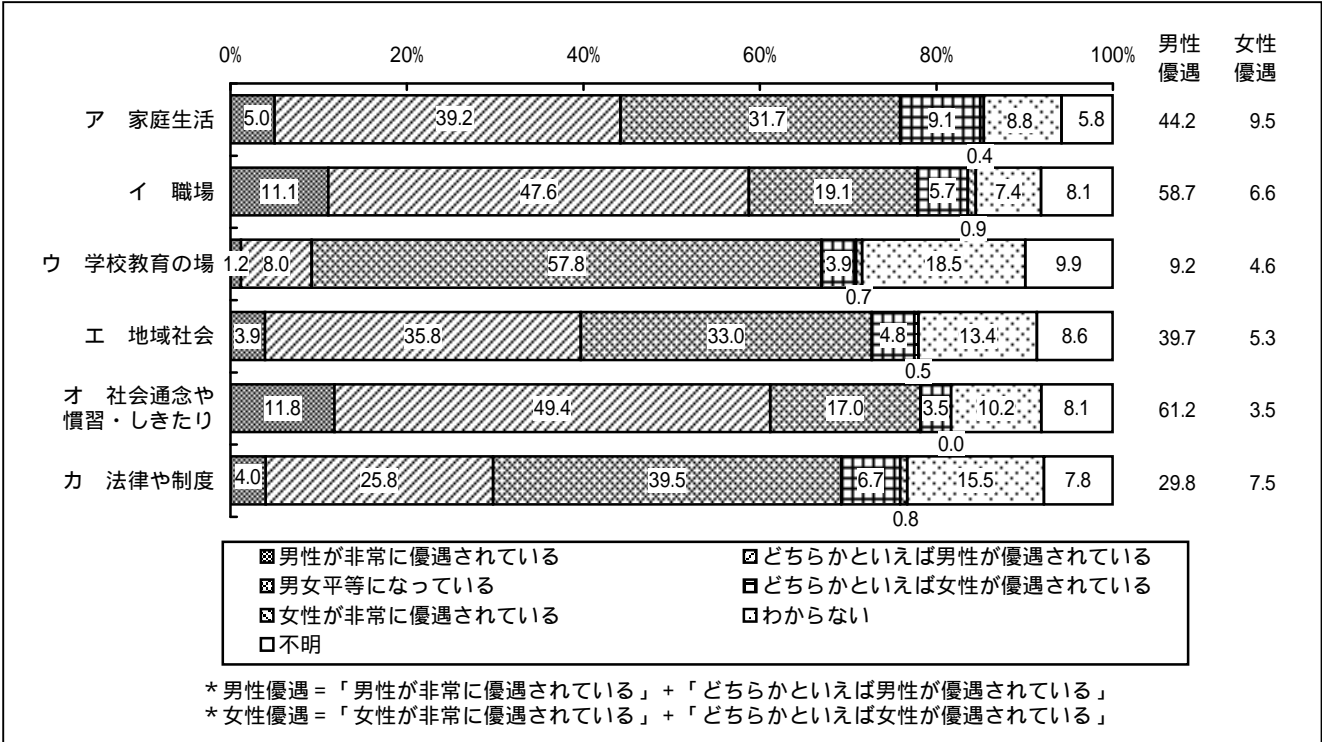
【地区別】

地区別にみると、『自治体・町内会などの地域活動』は「男性担当」と考えている人は旧市内を除く地区では4割を超えているが、旧市内は「女性と男性が同じ程度に行う」と考えている人も多い。

3 男女平等意識について

問23 現在の社会における男女平等意識についてお伺いします。それぞれのケースで1つお答え下さい。(ア～カ各々 は1つ)

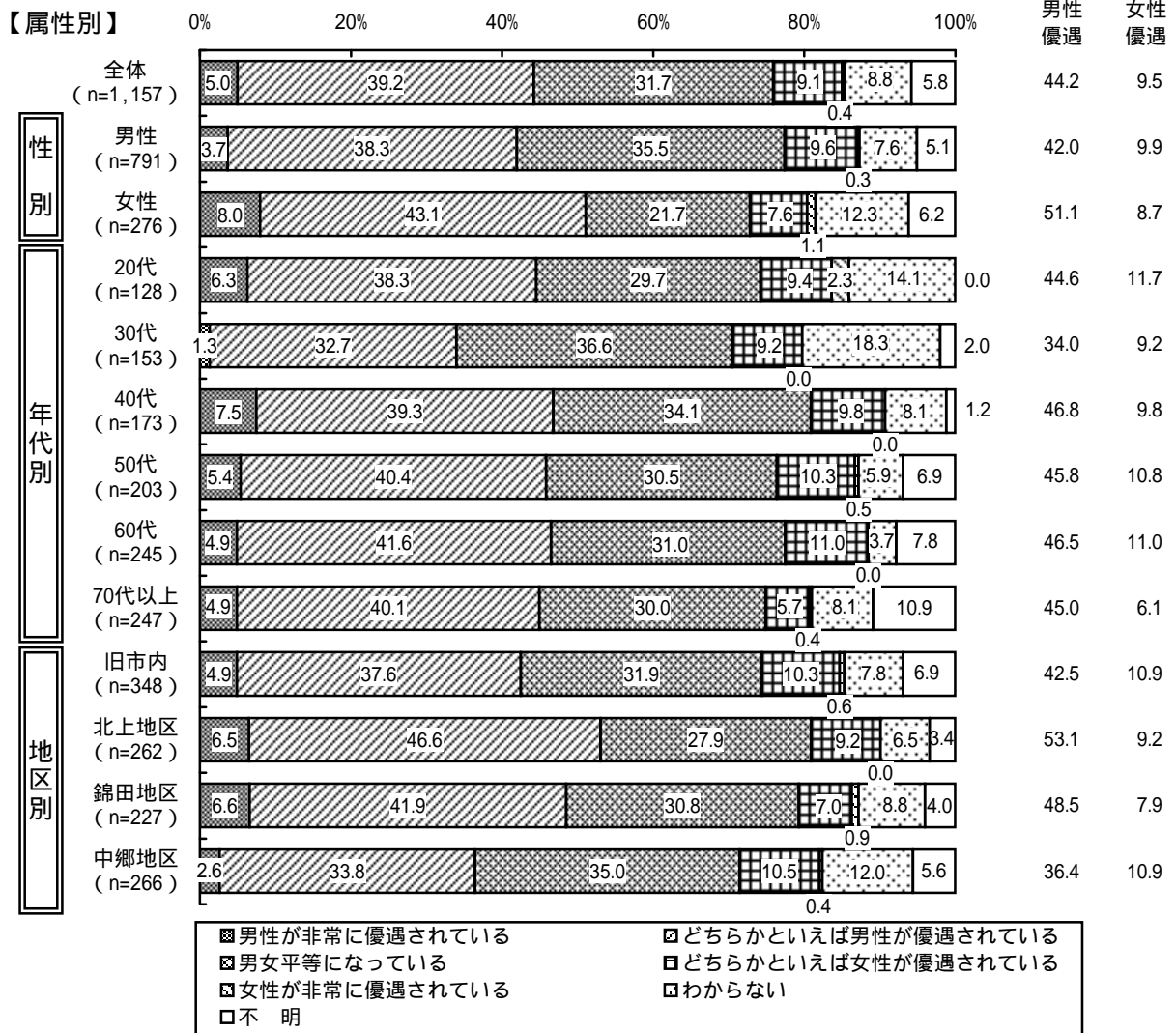
『社会通念や慣習・しきたり』は男性優遇が61.2%、『学校教育の場』は男女平等が57.8%



現在の社会における男女平等意識に関し、上記の6項目について聞いたところ、「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた「男性優遇」は『社会通念や慣習・しきたり』が61.2%で最も高い。一方、「女性が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた「女性優遇」は6項目とも低く、最も高い『家庭生活』でも9.5%である。なお、「男女平等になっている」では『学校教育の場』が57.8%で最も高く、次いで『法律や制度』の39.5%となっている。

3 『男女共同参画』について

ア 家庭生活



【性別】

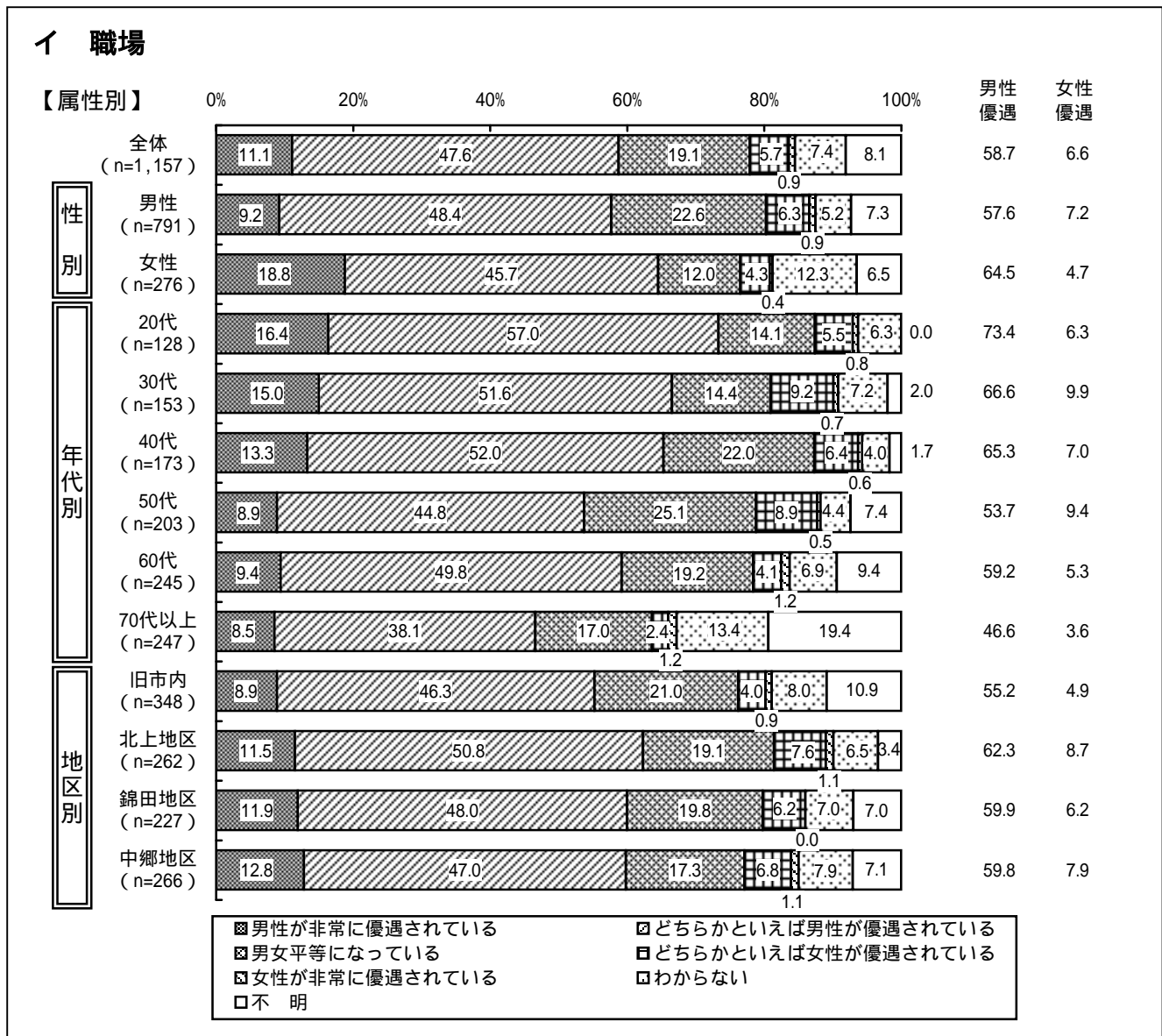
性別でみると、『家庭生活』は「男性優遇」と考えている人は男性が42.0%、女性が51.1%、女性のほうが「男性優遇」と感じている人が多い。

【年代別】

年代別にみると、『家庭生活』は「男性優遇」と考えている人は30代以外の年代で4割台となっているが、30代は「男性が非常に優遇されている」が1.3%と低いこともあり、34.0%と4割を下回っている。

【地区別】

地区別にみると、『家庭生活』は「男性優遇」と考えている人は地区によって開きがあり、北上地区は53.1%と高いが、中郷地区は16.7ポイントも低い36.4%となっている。中郷地区では「男性優遇」と「男女平等になっている」という考えに2分される。



【性別】

性別でみると、『職場』は「男性優遇」と考えている人は男性が57.6%、女性が64.5%、女性のほうが「男性優遇」と感じている人が7ポイント程高い。

【年代別】

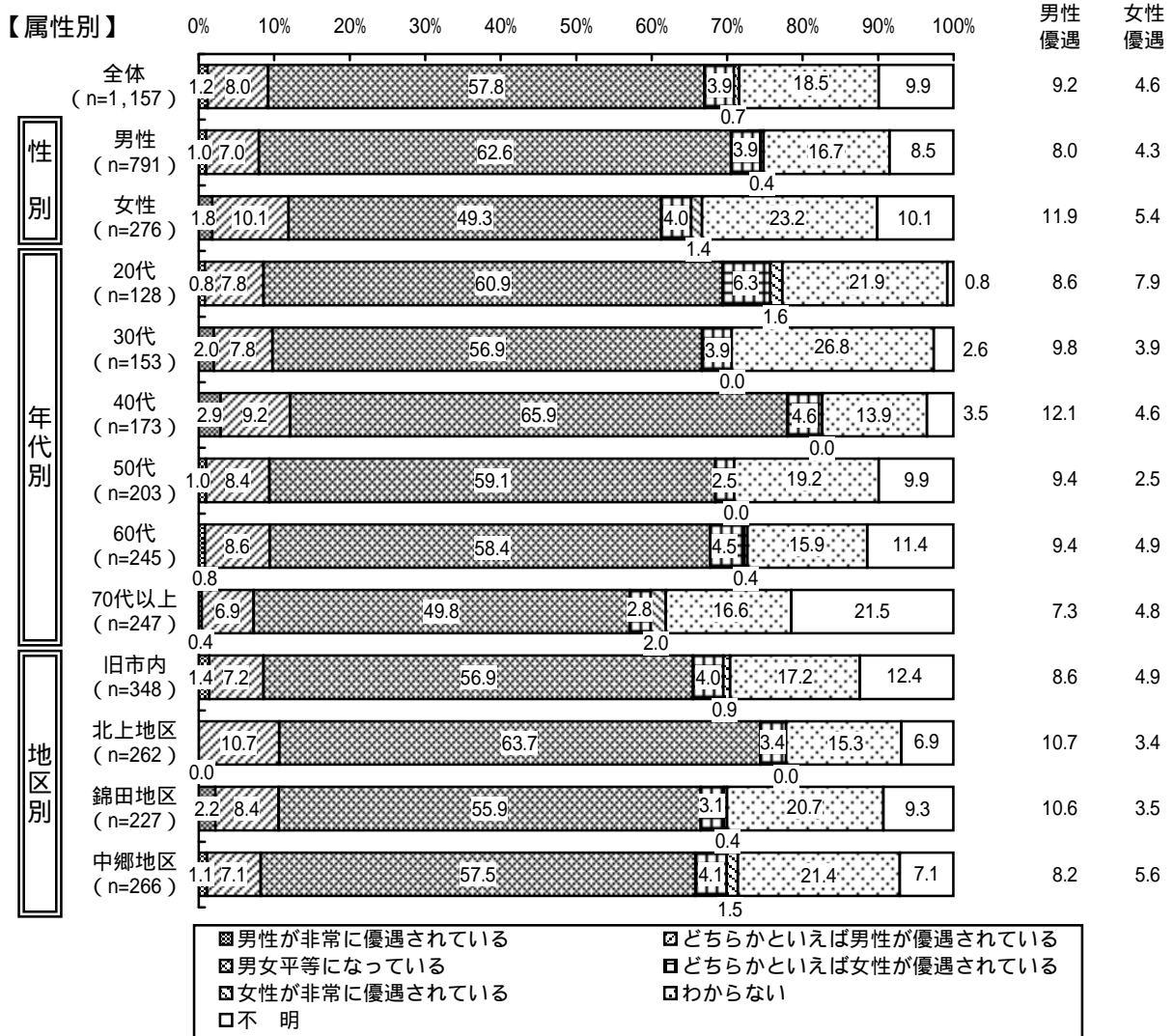
年代別にみると、『職場』は「男性優遇」と考えている人は年代が低くなるほど高くなる傾向にあり、20代は73.4%、30代は66.6%、40代は65.3%、この年代は6割を超えている。

【地区別】

地区別にみると、『職場』は「男性優遇」と考えている人は北上地区が62.3%で最も高く、その他の地区は旧市内が55.2%、錦田地区が59.9%、中郷地区が59.8%である。

3 『男女共同参画』について

ウ 学校教育の場



【性別】

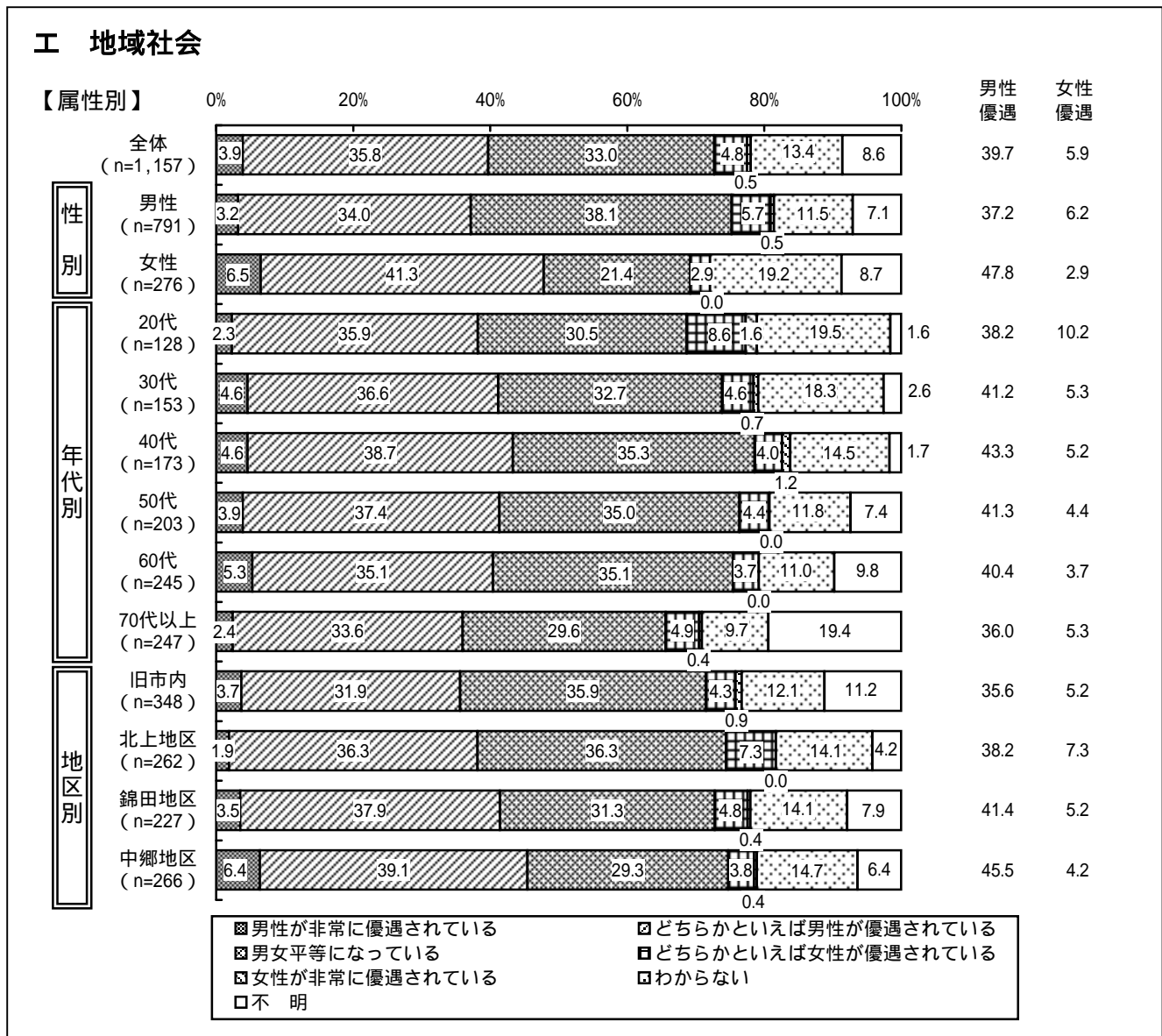
性別で見ると、『学校教育の場』は「男女平等になっている」と考えている人は男性が62.6%、女性が49.3%、男性のほうが「男女平等」と感じている人が13.3ポイントも高い。

【年代別】

年代別にみると、『学校教育の場』は「男女平等になっている」と考えている人は20代（60.9%）と40代（65.9%）が6割を超えているが、70代以上では49.8%と僅かに5割を下回っている。

【地区別】

地区別にみると、『学校教育の場』は「男女平等になっている」と考えている人は北上地区が63.7%と高く、その他の地区は旧市内が56.9%、錦田地区が55.9%、中郷地区が57.5%と5割台である。



【性別】

性別でみると、『地域社会』は「男性優遇」と考えている人は男性が34.0%、女性が41.3%、女性のほうが「男性優遇」と感じている人が7.3ポイントも高い。男性は「男性優遇」と「男女平等になっている」とに2分される。

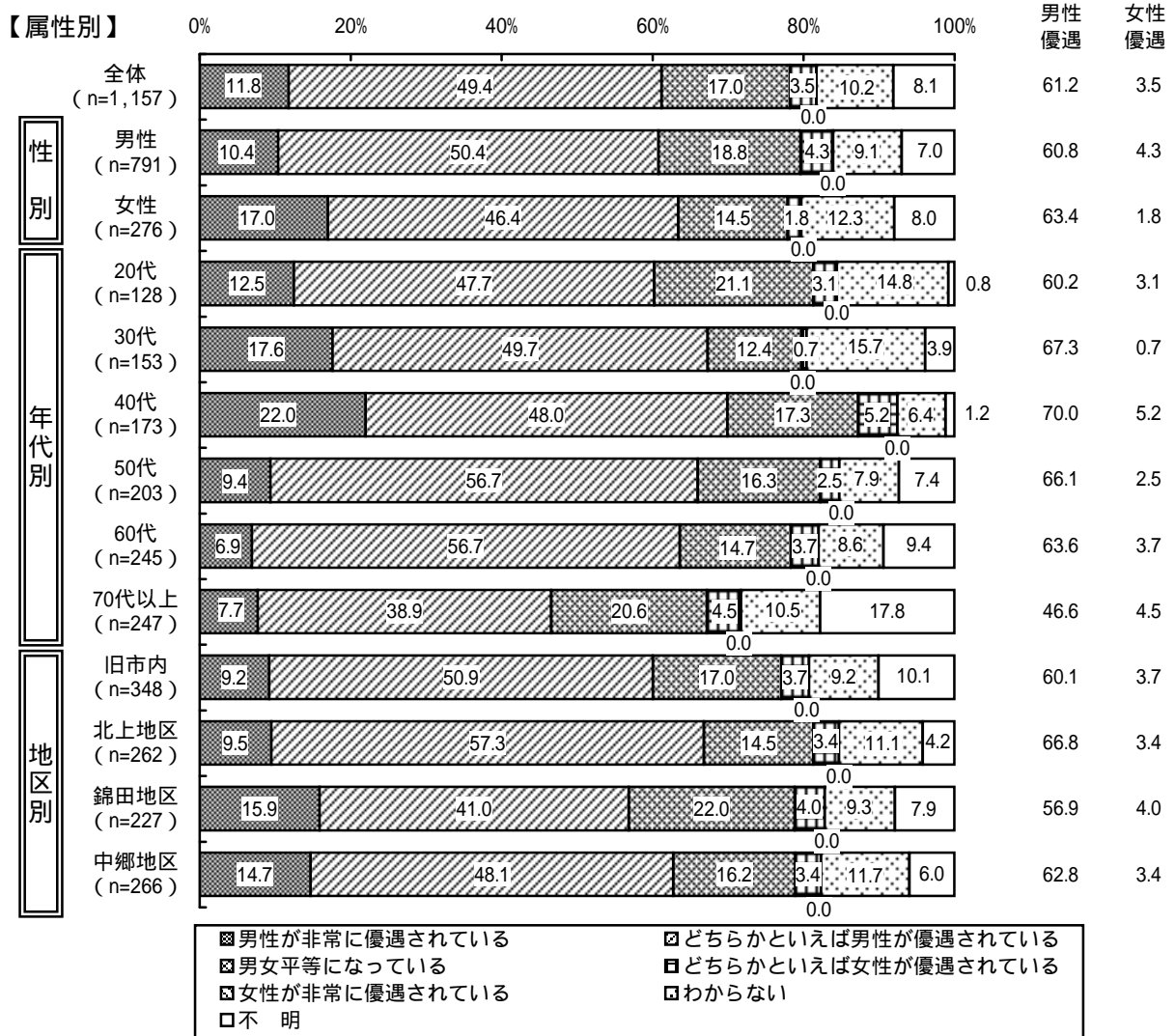
【年代別】

年代別にみると、『地域社会』は「男性優遇」と考えている人は年代によって大きな差はなく、最も高い40代が43.3%、最も低い20代が38.2%である。40～60代は「男女平等」と考えている人も多い。

【地区別】

地区別にみると、『地域社会』は「男性優遇」と考えている人は中郷地区が45.5%で最も高く、35.6%の旧市内と38.2%の北上地区は、「男女平等になっている」と考えている人も同じ程度の割合である。

オ 社会通念や慣習・しきたり



【性別】

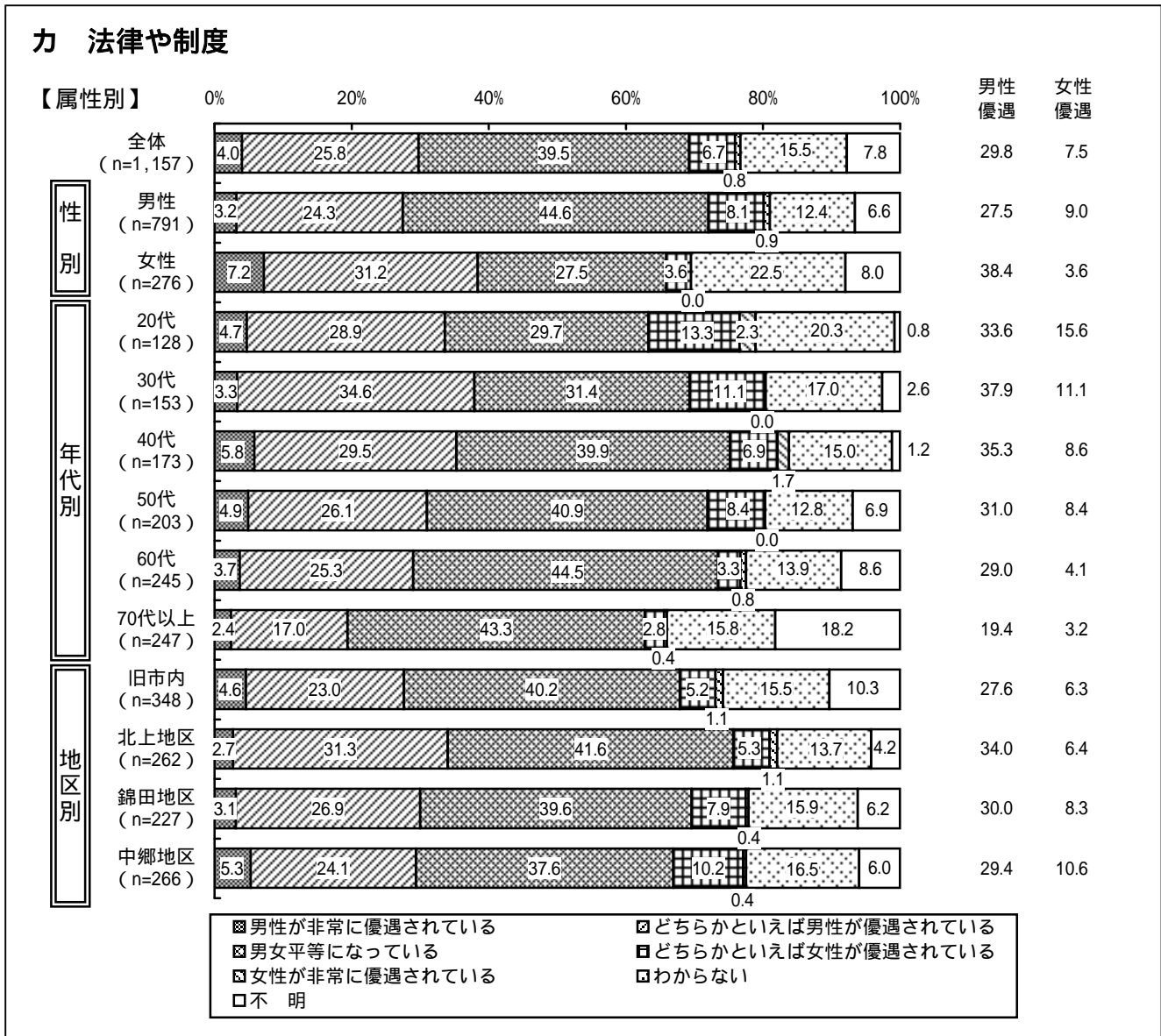
性別で見ると、『社会通念や慣習・しきたり』は「男性優遇」と考えている人は男性が60.8%、女性が63.4%、男女ともに6割以上の人があると感じている。

【年代別】

年代別にみると、『社会通念や慣習・しきたり』は「男性優遇」と考えている人は30～50代が高く、30代が67.3%、40代が70.0%、50代が66.1%である。「男性が非常に優遇されている」に限定すると、20代が12.5%、30代が17.6%、40代が22.0%、この年代は1割を超えている。

【地区別】

地区別にみると、『社会通念や慣習・しきたり』は「男性優遇」と考えている人は旧市内が60.1%、北上地区が66.8%、中郷地区が62.8%、錦田地区のみが56.9%と6割を下回った。



【性別】

性別でみると、男性は『法律や制度』は「男女平等になっている」と考えている人が44.6%で最も高いが、女性は「どちらかといえば男性が優遇されている」が31.2%で最も高く、「男性が非常に優遇されている」の7.2%と合わせると、「男性優遇」と感じている人が38.4%を占める。

【年代別】

年代別にみると、『法律や制度』は「男女平等になっている」と考えている人は50代以上が高く、この年代では4割を超える。20～40代は「男性優遇」と「男女平等になっている」が同じ程度の割合である。

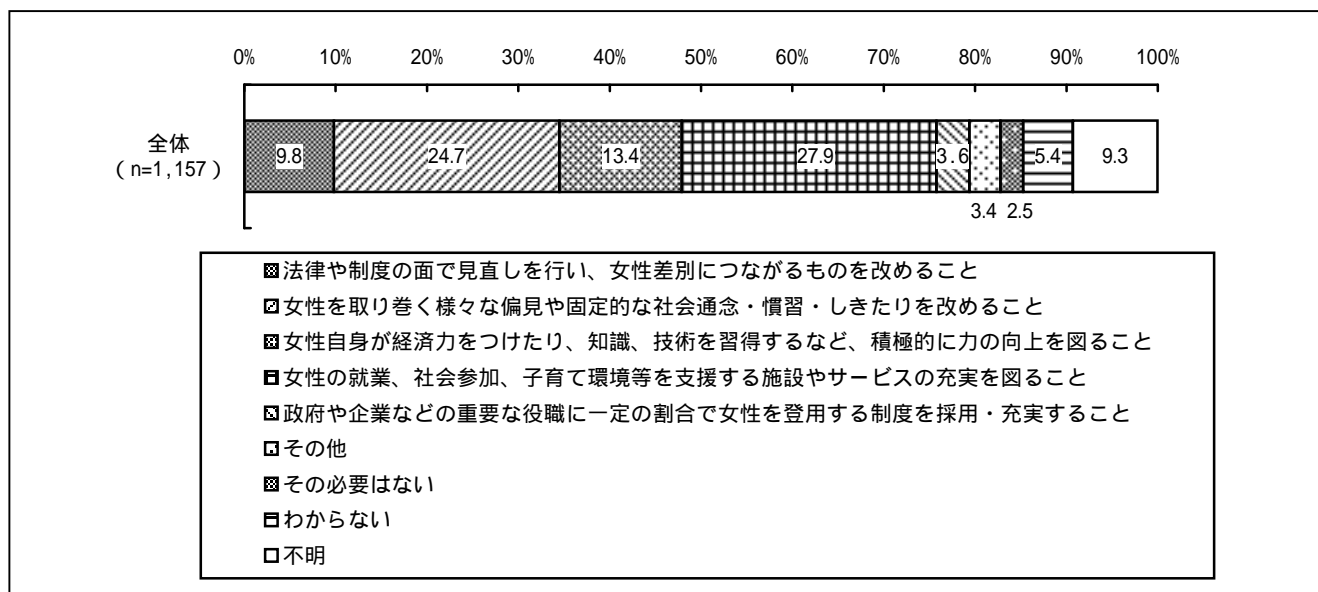
【地区別】

地区別にみると、『法律や制度』は「男女平等になっている」と考えている人がすべての地区で高く、4割前後となっている。

4 男女平等のために重要なもの

問24 男女が社会で平等になるために最も重要と思われるものは何だと思えますか。(は1つ)

「女性の就業、社会参加、子育て環境等を支援する施設やサービスの充実を図ること」が27.9%



男女が社会で平等になるために最も重要と思われるものを聞いたところ、「女性の就業、社会参加、子育て環境等を支援する施設やサービスの充実を図ること」が27.9%で最も高く、次いで、「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」の24.7%などであった。

【属性別】

	n	法律や制度の面で見直し が行い、女性の差別につな がれるものを改めること	慣習・しきたりを改めること 見や固定的な社会通念・偏 見を取り巻く様々な偏	向上を図ること 女性自身、知識、技術的 な能力を習得	女性自身、知識、技術的 な能力を習得	施設やサービスの充実を 図ること	女性の就業、社会参加、 子育て環境等を支援する こと	政府や企業などの重要 な役割に一定の割合で女 性を登用すること	その他	その必要はない	わからない	不明
全体	1,157	9.8	24.7	13.4	27.9	3.6	3.4	2.5	5.4	9.3		
性別												
男性	791	10.4	26.2	13.9	25.4	4.4	4.3	3.2	3.9	8.3		
女性	276	7.6	22.1	12.3	37.3	1.8	1.4	0.7	7.2	9.4		
年代												
20代	128	6.3	27.3	9.4	39.8	1.6	4.7	3.1	4.7	3.1		
30代	153	3.9	26.8	7.8	41.2	1.3	3.3	3.3	6.5	5.9		
40代	173	8.1	28.3	9.8	33.5	2.9	6.9	1.7	2.9	5.8		
50代	203	10.8	29.6	13.8	25.6	2.5	2.0	3.4	4.9	7.4		
60代	245	11.0	20.4	17.1	25.3	4.5	2.9	2.4	4.5	11.8		
70代以上	247	14.2	20.2	17.8	14.6	6.1	2.0	1.2	8.1	15.8		
地区												
旧市内	348	8.9	21.6	17.0	28.4	2.9	2.9	2.0	5.2	11.2		
北上地区	262	13.0	26.3	11.5	30.5	3.4	3.4	1.9	3.8	6.1		
錦田地区	227	8.4	23.3	13.7	25.1	4.8	4.8	3.1	7.5	9.3		
中郷地区	266	10.5	27.4	12.0	27.1	4.1	3.0	3.0	4.9	7.9		

: 1位

: 2位

: 3位

【性別】

性別でみると、男性は「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が26.2%、女性は「女性の就業、社会参加、子育て環境等を支援する施設やサービスの充実を図ること」が37.3%で最も高い。

【年代別】

年代別にみると、「女性の就業、社会参加、子育て環境等を支援する施設やサービスの充実を図ること」が最も高いのは20代（39.8%）・30代（41.2%）・40代（33.5%）・60代（25.3%）、「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が最も高いのは50代（29.6%）・70代以上（20.2%）である。

【地区別】

地区別にみると、「女性の就業、社会参加、子育て環境等を支援する施設やサービスの充実を図ること」は旧市内（28.4%）・北上地区（30.5%）・錦田地区（25.1%）が最も高く、中郷地区は「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が27.4%で最も高い。